町長と語る会

日　　時　　平成29年2月20日（月）　午後7時00分～午後8時45分

場　　所　　活性化センターはまなす

役場関係者　【町長部局】

町長、副町長2名、総務課長、みらい創造室長、長寿福祉課長、建設水道課長、みらい創造室地方創生担当係長

【教育委員会部局】

教育長、教育総務課長、教育指導主事

　　　　　　【農業委員会事務局】

　　　　　　　　農業委員会事務局長

参　加　者　１６名

【日　程】

１．開　会

２．町長あいさつ

３．議　題

（１）生涯活躍のまちについて

　　　・みらい創造室からの説明

　　　・意見交換、質疑応答

（２）湯梨浜町特定地域選択制の導入について

　　　・教育総務課からの説明

　　　・意見交換、質疑応答

（３）農業委員会からのお知らせについて

　　　・農業委員会からの説明

　　　・意見交換、質疑応答

４．その他

５．町長あいさつ

６．閉　会

|  |  |
| --- | --- |
| 総務課長町長総務課長教育総務課町民課みらい創造室農業委員会建設水道課長寿福祉課総務課長総務課長町長まちづくり会社町長総務課長参加者町長総務課長参加者町長総務課長参加者町長参加者町長参加者町長参加者総務課長総務課長参加者教育総務課総務課長参加者町長総務課長総務課長参加者農業委員会総務課長参加者 町長参加者町長参加者町長参加者総務課長町長参加者町長参加者町長課長町長 | 【議事の経過】平成29年2月20日（日）　午後7時00分～午後8時45分活性化センターはまなす午後7時00分　開会皆さんこんばんは。本日は大変ご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。定刻の7時になりましたので、ただいまから町長と語る会をはじめさせていただきたいと思います。開会にあたりまして、宮脇町長からご挨拶申し上げます。みなさんこんばんは。とっても寒い日になりましたけれどもお集まりいただきましてありがとうございます。昨年の地震から中部地区、なんだか痛められとるでないかと感じておりますけど、1月2月と2回大雪があって、2月10日から13日までの豪雪の際には、原や宇谷の集落のほうで公民館を開放して、更には炊き出しをして、おにぎりや豚汁を作られてドライバーの方に配られたということで。たまたま今日TCCの取締役会があったんですがそこの役員さんの一人が鳥取から出張しておられた方で、とてもありがたかったとあれで救われたと。20数時間閉じ込められて原のところに止まっておられたようですけど。2月16日には知事も両集落にお見えになられましたし、今日は国土交通省の広島の局長がお礼の電話をしてきておられました。ここに宇谷の区長さんもおられますけども、そういうことがございましたのでご報告申し上げときます。ありがとうございました。今日は泊地域の語る会ということで、先ほどまで他の集落はそうでもなかったのに泊は女性が一人もおられないなと、男女共同参画一番遅れているんじゃないかと思っておりましたら、泊地域じゃないですけど二人女性がお見えになって、やれやれと思っております。今日は議題を3つ用意しております。一つがCCRC、生涯活躍のまち構想、これはいよいよ東郷地域におきましては、Aコープ跡の建物を改築して福祉と活性化と、いろんな要素を持った移住の促進のための相談とか、或いはお試し住宅を隣に整備したりとか、そういうことで動き出します。それから対岸のサービス付き高齢者向け住宅や、町営住宅としてのミドーレイク跡地の計画作りもいよいよ本格化してまいります。そのようなことの状況説明を申し上げますとともに、二つ目は、湯梨浜町特定地域選択制ということで、皆さんもご承知のことと思いますが、泊小学校に羽合地域からのこども達も通えるように校区の弾力化を図ったということでございます。それの現状と、想定される事柄について皆さんのご協力もお願いしたいということがございます。それから三つ目が農業委員会制度が変わりまして、これまで農業委員さん湯梨浜町20人いらっしゃいましたけど、それを公選制から今度は農業委員は町長が任命して、推進委員の方たちのほうは農業委員会会長が推薦するというような形で、いろんな団体からあるいは地域から推薦していただいてその中から選ぶという格好になります。湯梨浜は農業が基幹産業ですので、ぜひとも遊休農地の改修ですとかいろんな部分でがんばっていただきたい。皆さんのほうでも推薦等についてご配慮いただきますようお願いしておきたいと思います。このように3つの議題を用意しておりますけれども、せっかくの機会ですからその他皆さんが日ごろ感じておられることにつきましても、ご意見をお伺いして意見交換をさせていただけたらというふうに思っております。今日は本当にありがとうございます。それでは説明に入ります前に、本日説明に参っております職員に自己紹介させたいと思います。皆さんこんばんは、教育総務課の西原です。どうぞよろしくお願いします。同じく教育総務課の浜家です。よろしくお願いします。町民課の重松です。よろしくお願いたします。こんばんは。みらい創造室の岩崎です。どうぞよろしくお願いします。農業委員会事務局の杉原です。よろしくお願いします。建設水道課の小林です。よろしくお願いします。長寿福祉課の竹本です。よろしくお願いいたします。はい、申し遅れましたが私本日の進行役を務めさせていただきます、総務課の蔵本です。よろしくお願いします。本日の日程ですが町長のあいさつにもありましたように最初に生涯活躍のまちの推進について、2番目に湯梨浜町特定地域選択制の導入について、3番目に農業委員会からのお知らせということで、それぞれ、ご質問、ご意見等承って一つずつ進めてまいりたいと思っております。また最後にはこのテーマ以外のご意見・ご要望等も承りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。では最初の、生涯活躍のまちの推進につきまして、みらい創造室から説明をさせます。＜生涯活躍のまちについて：別紙参照＞はい、説明が終わりました。ご出席の皆様でご質問・ご意見等ありましたらば承りたいと思いますがいかがでしょうか。この言葉が分からないとか細かいことでも結構です。ご質問等ございませんでしょうか。ちょうど皆さんが考えておられる間に、実は今日まちづくり会社の方お二人がお見えになっています。地域おこし協力隊として湯梨浜町に来ていただいて、町づくりのために移住などのそれぞれ担当分野をもって仕事をしていただいております。ちょっと自己紹介だけしていただけますか。皆さんこんばんは。湯梨浜まちづくり株式会社で活動しています、伊藤晶子と申します。関東から参りまして、湯梨浜の羽合のほうに住んでおります。湯梨浜に暮らし続けたいという町を一緒に作っていきたいと思っております。よろしくお願いします。皆様こんにちは。川崎浩子と申します。私も同じく昨年、地域おこし協力隊として東京から参りました。現在湯梨浜まちづくり株式会社のほうで移住・定住の担当をしております。今後とも皆様にお話しお聞かせいただきたいことがありますので、またよろしくお願いします。ありがとうございます。唐突に失礼しました。はい、みらい創造室のほうの説明がございましたがいかがでしょう。ここに安心して暮らせるまちづくりとありますが、今泊地域は買い物難民とか医療難民があります。私もあと10年もすればそうなると思うんですが、例えば町が関わった、社協にあるようなマイクロバスを週1回2回走らせることによって買い物に行くときにそれを利用すればタダだよというようなことがあってもいいと思います。あるいは、鳥取県内でも智頭町がタクシー券を出してますよね、何歳か以上の人には。そういったことをしていかないと、活躍の場をつくるとかそういったことも大事なんですが、買い物難民、医療難民を解消する術がなにかないかなと思いまして。なにか具体的に考えていることがあれば教えてください。この生涯活躍のまちでとりあえず松崎駅周辺の説明をさせていただきましたが、その中身は、3ページにありますように、地域包括ケアの推進、地域で福祉を支える仕組み作りですとか、あるいは多世代の交流拠点、活性化のための施設ですね、それから高齢者向け住宅、移住定住促進などを目的にやって、住みやすく活気のある町を作ろうということなんですけど、今お話しいただいたことも大切なことだと思っております。泊地域につきましては、さきほど担当の室長が話しましたように、小さな拠点作りということである程度いろんな要素の施設を集約した形のものを作るとか、そういう方法でいま泊の地域内に欠けているものの補完をしようと考えておりまして、それは委員会を設けて昨年の9月からずっと毎月開催して検討を深めているということです。具体的には例えば、マイクロバスで買い物難民支援ということもございました。これも大切なことで、従来湯梨浜町は高齢者に対するバスの定期券の助成ですとかそういった形で行ってきていますが、社協が買い物のためにバスを走らせて支援するという、会員制度ですけれども、そういうのも設けておりまして、昨年から町も補助金を出すようにしてよりそのことを強化しようということで、もっと活用していただく方を増やそうという取組もしております。お話がありましたタクシー券につきましても29年度予算から、よそから移住してきた方ですとか高齢者の方や、要するに免許を持っていない方でも不自由がなくなるようにということで、タクシー券を月２千円程度で、これからの予算ですから議会の承認を得ればですけれども実施するように考えております。そういった点では多少前進するかなと思っております。はい、よろしかったでしょうか、ありがとうございます。その他、ご質問・ご意見等がありましたらば承りたいと思いますが。この中に該当するのかちょっとわかりませんけれども、今現在車社会っていう中で、旧泊村の中にはガソリンスタンドが一件もないんです。羽合地域、東郷地域は何件かあると思うんですけど、なにをするにも車が必要という段階で、今ハイブリッド車とか電気自動車が徐々に出回ってきてますが、ガソリンいまだに必要なものです。泊地区ガソリンスタンドがないので例えば行政と民間がタイアップしてガソリンスタンドを泊地域に設けていただくのも検討していただけないかと思います。ガソリンスタンドを新規に設けるのはとっても難しいだろうなと、お話にありましたようにハイブリッドとか、そういった形で一方では消費がどんどん減っていく状況にありますし、そういったこともあって泊にはかつて3つスタンドがありましたけど、仰っているように今はないということで。新しいスタンドを作ることは、相手もいることですし、難しいと思いますけれども。逆に生協が盛んにやっておりますような、もっていってするようなことは考えれないかなといま思いながら話を聞いてたところです。ただガソリンは危険なものでもありますし、難しいなと思いますが。このスタンドの問題も、青谷にはありましたがそれも無くなってしまうということもありましたし。小さな拠点作りの中でなんらかの形を検討できたらなと今思っております。よろしかったでしょうか。はい、ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。はい、どうぞ。旧ミドーレイクホテルの跡地の利用についてご質問させていただきたいと思います。さきほど岩崎室長から小さな拠点作りの中で泊の人口減少の課題として、宅地造成なり商業施設を作っていきたいというふうに話が進んでいると紹介がありました。ミドーレイクホテル跡地の利用計画、まさにこれが泊が求めているものだと思います。宅地造成と町営住宅の建設、この規模を見ると港区を足した以上の規模になりますし、これをもし泊に建設していただきますと、人口減少や小学校の児童数の減少、また泊地域内のこども園を統合を検討するようなことの解決の糸口になると思うんですが、なぜこの地なのか。泊にこのような宅地造成を先にできないものかというのを教えてください。泊に宅地造成なかなかできないというのは、例えば区有地に水道管が変なところを通っていて利用できない場合町が水道管を移設するとか。石脇あたりでもそういったことをしまして、利用できる土地を作るのはやっているところなんですが。一つには、一方で空き家がどんどん増えていると、それは泊に限らず東郷のあたりでもそうですけど、そういったことがある一方で宅地供給しても、最初は多少入られるでしょうけど、それがどう続いていくか。空き家の需要がそこまでないというのが現状でして、昨年空き家の実態調査を建設水道課がやりまして、危険な家屋、住める家屋そういったものをすべて把握いたしまして、その次の段階でアンケート調査を実施し、家屋を貸していただけますかと意識調査をしたところ、なかなか貸していただける方の数が一桁だったというようなことがありまして。私はもっとこの移住定住の促進ということで空き家とか住宅の土地とか、そういったことも大切なことなので、移住を促進していこうと思えば、あるいは定住を進めていこうと思えば、空き家の受け皿がこれだけありますよと主張していこうと思ったのですがそれが的外れに終わってしまったと。受け皿についてはそれぞれに対し細やかに対応し数を増やしたいと思っております。今回なぜミドーレイク跡地にしたかというのは、さきほど申しましたようにこの中に３つの要素を持ち込もうと思っていると。1つは松崎地域の上町とか堀の内とか、あのあたり一帯の町営住宅が老朽化していると。長瀬団地も老朽化していますけれども、そこは廃止ということで整理はついてますが東郷地域の分は代替作る必要があると。その受け皿がどこか必要だろうということと、それから都会から人を招く手法としての一般住宅の供給ということと、多少サービスがついてる施設がいいという方たちのために、あるいはこちらに住んでいる方が住むためにサービス付き高齢者向け住宅を作りたいという3つの要素がからんでおります。ここの中に実は店舗系のものも欲しいんです。ところが今この土地の所有者の方々が多少問い合わせたところ店舗はなかなか難しいというお話をいただいているようでして。でも私たちからしたら店舗を置いてもいい場所だなと、それによって周辺の人たちも多少使ってくれたり活性化し便利も向上してきますから設けたいと思っているのですが、そういった現状です。より魅力を持たせてここに人が来てもらうには温泉でもひいて魅力を高め、人を招き入れようということで、一定の固まった土地が欲しいということで、ここはどうかということで今候補にして計画作りをしているところです。ただこの計画は一度に全部、例えば今申し上げましたサービス付高齢者向け住宅40戸分、町営住宅50戸分、分譲として81戸分というのを最初から作ろうという計画ではなくて。来年度の地方創生で取り組もうとしてますけれどもその需要がどれほどあるのかと、都市部から人を招きいれるにはどの程度の人が来てくださる可能性があるのかといったことを、きちんと調査をしてその必要性に応じた規模のものを作ろうということを考えております。ですので土地につきましても、町営住宅についてはするでしょうけれども、その他については土地の貸借で使われたりという可能性もありますし、事業される方もこれから町がまちづくり会社とともにやっていく事前調査や計画作りと並行して動き出すことなので、そのあたりはちょっと理解していただけたらと思います。いきなりこういった規模のものを作るのではなく、必要に応じて必要な数だけ作るというつもりで向かいたいと思います。泊について例えば先ほど石脇のことを言ったのは、水道移設したりしておりますし。あと候補地としてあり得るのは、原の9号線沿いかなと思っておりまして。小さな拠点作りの中で公民館の改築についても考えていて、それに伴って他の施設もどうするのか立体的に考えていきます。その中でまた宅地の造成場所とか考えればなと思っております。12月に湯梨浜町商工会と行政との懇談会でも、町長泊にも宅地造成前向きに検討したいとおっしゃっていただきましたし、小さな拠点の中で、例えば宅地造成をこういったところにしたいとか提案したときに前向きに検討していただけるということでよろしいでしょうか。その通りで結構です。はい、よろしくお願いします。ただその場合にもやっぱりある程度需要予測する必要があるかと思いますが、実際に地域の住民の皆さんの意見を聞くと、宅地が欲しいという意見があるのも承知しておりますので、そこそこの規模のものなら積極的に考えたいと思っております。はい、お願いします。ありがとうございました。はい、ありがとうございました。もうお一方承りたいと思いますがいかがでしょう。よろしいでしょうか。また時間がありましたらば最後のほうでも頂戴したいと思いますのでよろしくお願いいたします。それでは２番目の湯梨浜町特定地域選択制の導入について教育総務課から説明をさせます。＜平成29年度湯梨浜町特定地域選択制の導入について：別紙参照＞はい、説明が終わりました。湯梨浜町特定地域選択制の導入についてご質問、ご意見等ございましたらば承りたいと思いますがいかがでしょうか。この制度はいいことだと思うんですが、6名の子供達が手を挙げられて制度申込みをされているのですね。他の地域から転校、特に1年生だったら最初からだからいいですけれども、2年生以上になりますと、例が悪いですけど福島から転校された子供がばい菌呼ばわりされるような事例が出ているわけですけれども、教育現場には大変なことだと思うですけれどもいじめが発生しないように十分なコミュニケーションを図ってそういう事例が発生しないようにしていただきたいと思います。この制度自体については僕は大賛成でございます。以上です。はい、ありがとうございます。この子供達の中に新しい一年生もございますし2年生の子供3人というような状況です。実際転入するに当たってはお父さんお母さん、それから本人にも実際泊小学校の学校の状況、授業の様子、或いはランチルームの様子等も見ていただき校長先生の話を聞いて、よくよく考えた上での選択ができるように丁寧に進めてまいりました。この後もまた通学方法についてはより具体的にご説明しようと思います。それからご指摘のございました、福島の子供達が転入した学校の中でいじめにあったのはテレビ報道等でもあったところでございます。絶対こういうことがないように教育委員会も学校と一緒になってしっかり対応したいと思います。ありがとうございます。はい、貴重なご意見ありがとうございました。はい、どうぞ。よろしくお願いします。今回の教育の部分だけではなくてですね、この泊地域人口も減っていって児童数も減っていってさびしくなっていくのに一番の解決策は子育て世代が移住してもらえる、住んでもらえることが必要かなと思った時に住むところがないのが問題だと思います。やはり今ある地区の空き家だけでは、なかなかこの世代の人たちが古い建物を借りて住もうとはならないと思います。そのあたりも見直していただきながら、東京の方で移住促進の広報される際にそういった世代をターゲットにしたような、泊小学校の魅力をアピールしつつ。住むところがあればもっといいんですが、そのあたりを総合的に、アクティブシニアだけではなくて、子育て世代をなんとかこちらに来ていただけるような。本当は直接経済的な支援があればいいんでしょうが、それが無理であれば無料バスの送り迎え等、なにかしらこの世代に魅力的だと思ってもらえるような施策に力を入れてもらえたらと思います。泊小学校は健康優良校日本一になったこともありますし、さきほど指導主事から話がありましたように環境もいいというようなことで、魅力をアピールするにはいい学校だと思います。いまおっしゃった若者達が住むのを手助けする方策をということで、来年度予算の中で一つだけそういう要素を織り込みました。若者世代、子育て世代が家を建てる場合の補助金、建てるか購入する場合に50万円の補助制度を設けたところその需要が多くて今年だけで40件申込みがありまして、これは施策としては6,7年すれば固定資産税で50万円は基本的には町に入るわけですので。これを今の状況でいいますと最も多いのは羽合地域になるわけですが、そういうことをさきほどおっしゃったように泊の過疎地域、あるいは旧東郷町の山間部や羽合地域の橋津等、これらの過疎地域、中山間地域を対象に少しかさ上げ補助をしようと考えております。議会の承認得なければできないんですが、そういう考えで臨もうと思います。例えば50万あるものを中山間地だったら55万、60万に引き上げるとか、そういったことで呼び水にしたいと思っております。学校も魅力の一つでということで中身をもっと良くして何か秀でたもとが泊小学校にできたら首都圏へのPRにも使えますし、子供達も集まってくると思っております。そのへんは積極的にやってまいりたいと思っております。はい、よろしいでしょうか。もうお一方承りたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは3番目の新たな農業委員会制度につきまして農業委員会の事務局長が説明をいたします。＜農業委員会制度について：別紙参照＞はい、農業委員会の新制度について説明がありました。ご参加の皆様でご質問等ございましたら承りたいと思いますがいかがでしょうか。この制度の件ではないんですが、農業委員会の制度の中で泊地区で小さな農地がたくさんあって、だれか貰ってくれないかという時に、農地の譲渡ということで取得面積の制限がありまして、泊地域で確か3000㎡くらい持ってないとあらたに農地が取得できないというようなことがあって、そもそもは農地を守るための制度だと思うんですが、逆に泊の場合は譲渡してやるような農地でないところばかりでして、20坪、10坪の農地がたくさんあって。そういったところで家庭菜園でもしたいなと思った方に譲渡しようにも泊地域で3000㎡もってる方は到底いませんので、逆に作る人がいなくなって放棄されてしまう。実際泊の中でも原、宇谷、園等農地として成り立つところはそうしないといけないと思うんですが、小さい農地をもっと活用するために譲渡しやすいように考えていただけないかとお願いしたいと思います。法で下限面積というものが決まってまして、本来5反です。それを湯梨浜町のほうで審議してそれぞれ実情に合う形で面積を減らしてきております。泊地区はさきほど言われてましたが、小さい面積、耕地ということで荒れている部分もございます。土地の売買ということになれば、農業地でなければ、荒れているのであれば非農地化していただいて農地でない状態から売買してもらう方法もあるかと思いますが、そのあたりはそれぞれの案件に応じていただければと思います。よろしいでしょうか、その他ご質問等ございましたらば承りたいと思いますがいかがでしょうか。はい、どうぞ。最近大きく報道されているふるさと納税の問題ですが、使い道、それから税金の入る入らないの問題、それについて湯梨浜町の方針をお聞きしたいし、それから泊の住宅としまして青少年の家を壊してそこに30でも住宅が建てれないだろうか。そのわけは、保育園、小学校、社会福祉、交通の便利さも非常にいいと思います。その当時、青少年の家を作るときに町長のお父さんと私が協議しました。青少年の家のような施設が減っていっていた時代でしたから、あそこに住宅を建てたらどうかと案を出しましたけれども、やはりあの箇所に建てたらいいと思います。以上です。ふるさと納税は、例えばどこかの人が湯梨浜町を応援したいと思われたら寄付をするわけです、湯梨浜町に寄付をした方に湯梨浜町の特産品ですとかのお礼の品をお送りします。寄付された方は自分の所得税から一定の控除が受けられます。そういったことから、鳥取県のおいしいものを食べたい、例えば松葉がにですとかわが町でいうと20世紀梨ですとかになりますが。そういったところに寄付をして、お礼の品をもらう仕組みで、寄付してもらったところはお礼の品を送っても残ったお金が自分のお金として使えます。今問題になってますのは、お礼の品が派手すぎて本末転倒になっているんじゃないかと。本来の感覚からいいますと、あそこの町のこんなことを応援したいから寄付をするといった想定であったものが、お礼の品欲しさに寄付をするというようなこともあって、最近はお礼の品の金額を抑えるべきだという意見もでております。湯梨浜町はその点につきましては過度なことはやめようと、送料をつけても4割程度で収まる金額でお礼の品は出しております。昨年は1億3千万ほど寄付がございましたけれども、今年は全国的に減っているようで湯梨浜町は1億1千万いくかどうかというところだと思いますが、そういった状況です。あと青少年の家ですが、泊小学校が移転して残った建物を青少年の家ということで、子供達の夏合宿ですとか、海水浴、グラウンド・ゴルフに来られた方の宿泊場所としても使用してますが、あそこもたしかにまとまった土地になっていると思います。実際どのようなものができるか考えてみて検討したいと思います。寄付の使い道はどういったことにつかっているんですか。使い道は町で5つ項目を設けております。子育て、教育、高齢者福祉ですとかの項目を作って、寄付者がその中から指定することもできますし、特に指定なしということでもできます。ですので使い道も子育て、福祉関係等に使っているところです。今年は地震の関係で町からの見舞い金の支出も相当ありますので、寄付いただいた1億ほどのお金の中から1,200万円を見舞金の財源として使わせていただきました。将来ふるさと納税はつづくものですかそれはわかりませんが、過度の変な方向に流れることは自制するにしても、続けていただいた方が町としてはありがたいと思います。結局税の再配分になりますので、鳥取県の大方の自治体にとっては貴重なお金だと思います。報道関係によりますと、悪い要素が多くでています。そういうのが長く続くかどうか心配しただけです。以上です。はい、貴重なご意見ありがとうございました。新たな農業委員会制度に関するご質問はございませんでしょうか。それでは1番から3番まで通して本日のテーマの中でご質問あればお一方承りたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか、ではせっかくの機会ですので、本日この3つのテーマ以外のことで町にご意見・ご要望等ございましたら承りたいと思いますがいかがでしょうか。実は今日建設水道課長が出席しておりまして、除雪のことでお困りのことがあったのではないかと思いまして出席させておりますのでもしあれば承りたいと思います。他の地域には出席してないんですか今日はぜひ出てくれということで。だいぶ苦労されたでしょう。このへんちょっと問題じゃないかということがあれば。除雪の件で、6年ほど前の大雪の時は確か年末年始で正月にかけて部落の人に出てもらって総動員で空けたのを覚えています。この間11日は夜におにぎり等も配ってその日の夕方に告知放送で明日の朝8時から全員が出て区内の町道も含めて、除雪のできない狭い道や国道の歩道もほとんど手つかずでなんとか皆さんが出て昼前までかかってなんとか歩けるところまでできました。当然中のほうは車ですぐ通れるようにはできなかったんですが、その中で除雪機のことがでてくるんです。借りるということもあるんですが、雪のせいで借りに行くこともできませんし、今後除雪機を宇谷だったら2台くらいでも準備できたらなと思います。コミュニティでそういう事業もあったと思うですけど町でも今後のこともありますし補助等考えてもらったら大変うれしく思います。なかなか除雪ができないということで大変でした。道が狭く普段軽で走るくらいですが、除雪しようと思えば軽に積んでどこかに捨てにいくと、そのような形になりますので。今後の課題ということでする必要があると思います。それから私は理由をわかってますので、海岸通りの件ですけれども除雪のことはあまり強く言えないんでんすが、そこを毎日利用している方がなかなか勤めにでれない、たまたま車を家に置いてしまって出れなく建設課のほうに連絡をされたらすぐに動いてくれまして、大変喜んでおりました。それで実は漁港の関係ですから産業振興課の担当になると思うんですが、なんとかしましょうということで担当者が動いてくれたようです。そのことをお礼を申し上げておきたいと思いまして。この度の町長と語る会の中で除雪に関して初めてお褒めの言葉をいただきました。おっしゃいましたように中の道が大変だなと。今回は何十年に一度の大雪で、あまりお金をかけたくないという気持ちが一方ではありますけど、しかし一定のことは整備しておかないと。先ほどおっしゃられたように仕事に車で出れないという人があっただろうと私も思っています。私も近所のあたりを見てまわったんですが、５区の人だったでしょうか、車が出れるように一生懸命雪かきをされていて。だけれども抜ける道がないと困られていることがあって。やはり今役場に二台置いて順番にやっていますが、集落ごとに整備していく必要があるなと。一集落で一つが無理ならば、二集落、例えば宇谷なら二台かもしれませんし、泊なら1,2,3区で一台という感じでより充実していく必要があると思っております。それからもう一つ意見の多かったのが保育所の除雪です。なかなか日曜日に保育士が出て、保護者の皆さんにもお願いして雪かきして、大きな保育所は大変でして、そのあたりも保育士さん休みの日一日雪かきさせて、あくる日は通常業務という人もいましたけど。基本的には自分たちの、役場にしてもそうですけど、管理施設は自分達で雪かきするようにしていますが、今回のような大雪ではそれでは手が届かない部分があると感じております。除雪機についても例えば保育所の規模とかも勘案して整備する必要があると考えております。今日小林課長に大変だった思いを語られたら一時間以上経つでしょうけど、今回の大雪は何回かいてもかいても厳しくて。ですので幹線道からかいて、それがひと段落してから中の道だとか、町道でない部分も職員が手伝ったりだとか、そういったことをやるルールになってるんですが、そこに行くまでに時間がかかってしまったということで反省点もあります。これは一つにはひょっとしてよそに雪かきできる業者さんがいってるんじゃないかということも、なかなか周っていけないという実態からも感じています。そのあたりのことを含め除雪のことを見直そうということで、多少お金を使ってもやはり整備すべきものは整備すべきで。それから今回いけなかったのは、壊れたのが分からずにそのまま置いてあって、いざという時に使用したら使えなかったというこども園もあったようです。そういったことも考えてみたいと思っております。今回思いましたのは、何も指示しないときは住民の皆さんは自分の家のまわりしかしないんです。ところが告知機で放送してみんなで協力してしましょうとしたところ、若い人から年寄の人までみんなでてくれまして。自分の所だけではなくて全体を一通り終わるまでしてくれました。それから子供達は２か所のバス停で朝バスに乗るんですが、そこの国道の歩道もみなさん協力して子供達が歩けるようにしてくれておりました。その面で住民パワーといいますか、おにぎり作ったのも晩御飯が終わったくらいの時間だったので、私放送したら怒られると思ったんですが、逆にどんどんご飯まで炊いて、それぞれが出してくれたので。そういうのが本当の活性化といいますか、人の力でなんとかできるのではないかなと思います。ただできれば、除雪機もあれば、住民も高齢化していきますのでそのあたりが心配だなと思っております。今日来られている方の中でも、3区は除雪機を借りていかれて、除雪機で除雪していくときに両方とも家が張り付いていますから、みんなスコップ持った人たちがきれいに積んでいって感激しましたし、4区は、私の親類のおばあさんが一人で住んでるですけど、玄関のところがかいてあって、聞いたら区の人が独居の老人のところをかいていただいて感激しましたしいろいろ学ばせていただきました。そういったところに役場が手助けして、もっとみんながそういったことをやりやすくしたいと改めて感じたところですので、そのようなことを検討してまいりたいと思います。はい、ありがとうございました。もうお一方除雪のことでも結構ですしそれ以外のことでも結構です。なにかありましたら承りたいと思いますが。よろしいでしょうか。では時間もだいぶ経過いたしましたので以上をもちまして町長と語る会を閉会したいと思います。最後に町長がご挨拶申し上げまして閉会といたします。どうもありがとうございました。泊小学校に羽合の子が通うことについては、東郷での会の時に、羽合・東郷・泊の垣根を取った方がいいということで制度について肯定的な意見もありましたし、その一方でさきほどいじめが起きないようにと話もありましたし、それから通う子供達、親御さんにとって大事なのは地域のことと学校のことをどう両立させるかということで。親御さんにとっては地域のことに子供が、住んでいるところの子供会に参加するのがスジでしょうから、住んでいるところに参加してもらうのと、親がそれに積極的に協力することが求められると思います。みんなでこの制度うまくいきますようにご協力お願いしたいと思います。本日は本当に長時間ありがとうございました。＜終了＞ |